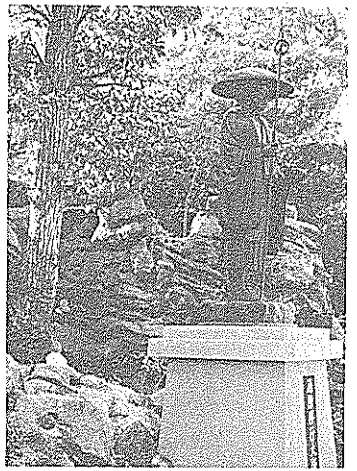


市民のひろば



親子クイズ ①

ご家庭で話しあって答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

■もんだい
①杉本市長の施政方針は、憲法をくらしの中にいかし、公正で清潔、ガラス張りの行政を行ない、聴く市政、〇〇〇〇、そしてそれに応える市政です。

■しめきり・4月15日(日)
■おくり先・〒783 南国市大埔、南国市役所内広報委員会、親子クイズ係

■答えのはがきには必ずお歳、職業を書いてください。

広報や行政に対するご意見、マンガ、詩などもどうぞ。

■しょうひん・特賞 2,000円=1人、残念賞(記念品)=10人

特賞に石川真司くん(田村)

第30回の正解者発表

■こたえ・④倍でした。
■特賞・2,000円、石川真司(田村)
■残念賞・細木芳子(大埔) 高橋佐知(植野) 中沢カオル(十市) 中沢嘉隆(十市) 藤岡香代(大埔) 杉本和代(立田) 田中準一(稲生) 門田清子(奈路) 山本ゆかり(岡豊) 山本豊子(物部)

米作で5万円は落第生

高島田邦政(物部)



最近、中堅農家の会合で「米作による収入はいくらになっていくか」と問題をなげかけたところ、「千〇〇当り四、五万四〇〇くらい」という方が圧倒的に多かった。「皆さんは、米作りの落第生だ。四、五万円の半分か、あるいはそれ以下と答えられるのが優秀生だ。」
「私たちは現在米をつくって、実際収入を四、五万四〇〇あけて(収入七万四、支出二、三万四で差引き収入四、五万四)の、あなたのこととは、どうもつにおかしい。」
そこで私は……。
「収入は米七俵で七万余円、副産物代二万とみて合計七万二千円となる。問題は支出というか、経費というか、それをいかに計算しているか、それを皆さんに聞きたいところ。種苗費、肥料農薬

代、雇人費、諸材料費など金で支出するものが一万五、六千円というところは異論のないところ。そのほか、みおとしているものが三万五、六千円あることにお気づきですか。」
「それは、何ですか。」
「地代一万七千円、利子三千円、固定資産償却費一万六千円、合計三万六千円なり。」
これは人により、土地により多少の差はありますが、大きな差はないところだ。
地代―これは小作料といったところで、中に固定資産税も含まれる。これは自作、小作の別なく、米作、雑費として計上すべきもので、米をつくらなくても土地を持っている人の収入とみるべきものです。(米作の収入でない)
利子―耕耘機、脱穀機、粃すり



土佐国衛跡に桜の二世植樹

緑の週間の三月二日、比江の土佐国衛跡―紀貫之邸跡で、由緒深い桜の記念植樹が行われ、植樹には杉本市長、溝淵県知事、坂本高知管林局長はじめ、国府小の児童も出席。杉本市長が「伝統の地にこうした後継ぎが生まれたい」と述べ、三人そろって「伝えた」と述べ、三人そろってシャベルをとって桜を植えた。この桜の若木、この国衛跡にある約二百年たった老桜から実生した二世で、高知管林局長が三〇余りに育てあげたもの。このほか、ウマメガシなど九十本が周囲に植えられた。

子ども会のキャラバン隊

子供会を通じて互いの親睦を深めようと二月二十七日、子供会キャラバン隊が市内の各小学校を巡回訪問した。各小学校には子供会のメーセージがとけられ、楽し

機、農用建物など、最近の農家はかなり多額の資本を投入している。仮りに、それを百万円とみても、その利子は五、六万四見込むべきではないでしょうか。借入金による、あるいは十萬四〇〇くらいになるかも知れない。その利子を返当りになおすと三万四〇〇になるというのが農林省の統計調査の結果です。これは米作に投資しなくても百万円の金を持つていけば、利子として入ってくる金です。これも米作収入ではない。

固定資産償却費―土地を除く固
定資産には耐用年数がある。仮りに建物、農具の固定資産百万円とすると、耐用年数十年で、一年に十萬円、これを反当りにすると一萬五、六千円になるというのが農林省の発表している数字です。
とにかく地代、利子、固定資産償却費などは支出か、経費とみるべきもので、米作の収入ではないことにお気づきになられたことと思ふ。十〇〇当り米作の実質収入は二万内外ということではないか。皆さんのお宅では、いくらになるか。めいめいで計算してみてください。

ださい。なお、これらについて研究すべき多くの問題があるが、お互い、相ともに勉強しようではありませんか。
■くわしく研究されたい人は、高島田邦政の著、高知県や全四十七都道府県の資料があるそうです。
また、四十七年産米作の所得と利潤について、広報なんこく十一月一日号(第百六十号)十四ページにも掲載してありますので参考にしてください。

つくし



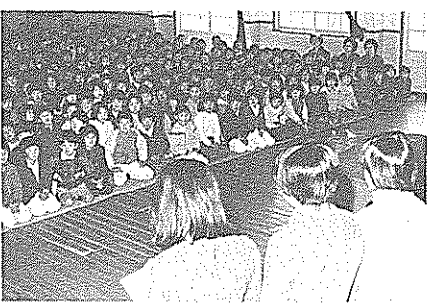
走るより、は歩めとか、ゆつくりリズムとか言われてきました。だが昔はそれを地でゆきましたね。私は二十何年も前、高知から北海道のさいはてに近い浜頓別(はまどんべつ)まで普通列車でいきました。これはゆつくりのなんのってアクビの出る旅です。オマケに青函連絡船ののりばでは、どうも戦争中の機雷が浮いていくかわらんという事でしばらく待たされるし、何日でも汽車にのっている車中ではねたことのない私もさすがにつか

たが昔はそれを地でゆきましたね。私は二十何年も前、高知から北海道のさいはてに近い浜頓別(はまどんべつ)まで普通列車でいきました。これはゆつくりのなんのってアクビの出る旅です。オマケに青函連絡船ののりばでは、どうも戦争中の機雷が浮いていくかわらんという事でしばらく待たされるし、何日でも汽車にのっている車中ではねたことのない私もさすがにつか

鈍行列車

所の人たちが汽車を借り切つてつりにいくので、汽車の中でラーメンを作るから一緒に手伝つてくれと言われ、いやともいえずついていきますと、今にも熊が出そうなる木の茂みの中を単線の汽車はゆつくり進みます。やがて到着すると

刈谷益子(後免)



母子家庭の中学生を励ます会

く人形劇を見たり、左右山植木組合から記念樹が送られました。母子福祉連合会の母子家庭の中学生卒業生を励ます会が三月十七日市役所で行なわれた。まず、久万富士会長が「お母さんと友だちとなり、身体と身体をぶつけてがんばってほしい」と開会のこと、杉本市長も「私も四歳で父をなくした。父がなくても負けないという気概で生きてほしい。お母さんたちも苦労のない社会のためたちあがってほしい。」など来賓から激励。児童を代表して足利やすし君(岡豊町)から「母の教えをよく守り、正しい生き方をみつけ少しでも社会に役立つ若者に



空港拡張反対で市民集会

なりたい。」とお礼のことばがあった。このあと、記念品や交通遺児災害遺児に激励の見舞金、吉川芳美さんから手作りのエリカの花が一人ひとり贈られた。午後は映画やレクリエーションお母さんの学習会などが行なわれた。